

医療法人社団 くわのみ会 桑園整形外科

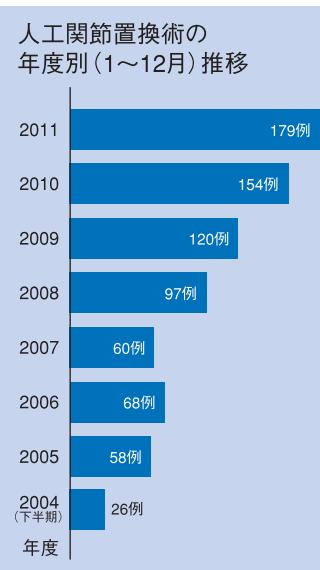
北海道



人工膝関節置換術は約5cmと傷口が小さい



桑園整形外科の外観



チーム医療で小皮切の人工膝関節置換術を行う

人工膝関節置換術を中心とした実績を上げる 小皮切(最小侵襲手術)で患者の負担軽減に努める

変形性膝関節症で苦しむ人のために

桑園整形外科は、北海道札幌市の札幌駅より電車で1駅という交通の便の良いところに2007年に開設された。開院4年目の新患者数は累計で1万4千人を超えており(2007年10月~2011年12月実績)。「膝の治療に重点を置きながら、スキーやスノーボードなどのプレー中に十字靭帯損傷になった場合のスポーツ外傷・障害の治療や、外反母趾の治療にも取り組み、成果を上げています」と桑園整形外科の東裕隆理事長・院長は話す。

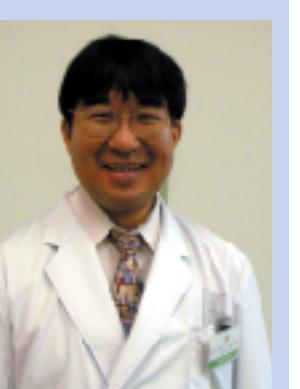
変形性膝関節症は、多くの人が苦しんでいる疾患で、膝の関節にかかる衝撃を吸収する軟骨や半月板がすり減り、硬い骨まで破壊されていく。加齢による影響や遺伝的な要素が原因とされている。肥満や、前十字靭帯断裂をはじめとするけがなども影響する。日本人の生活様式である正座を頻繁にする人も発症のリスクが高まる。

「変形性膝関節症は、発症者の70%以上を女性が占めています。関節が痛み、軽度の場合は立ち上がる際や階段を降りる際などの痛みにとどまりますが、悪化

すると何もしていなくても痛むようになります。痛みが続くと精神的な苦痛も大きくなり、日常生活にも悪影響が生じます。痛みがひどいからと歩かなくなり、結果として筋肉が落ちてさらに悪化するという悪循環に陥る方もいます」

第一に考えて実施 保存療法を

東理事長の治療方針は、手術をしない保存療法を第一に考える。「手術は体に負担がかかるため、患者さんからすれば、極力手術をしないほうがいいでしょう。だから筋力訓練や消炎鎮静剤の使用、ヒアルロン酸の注射、日常生活動作の指導など、まずは保存療法を徹底して行います。それでも効果が表れない方や、来院の時点で痛みの激しい患者さんについて、手術を希望される場合は検討した上で人工膝関節置換術を施すようにしています」



医療法人社団くわのみ会
桑園整形外科
あずまひろたか
東 裕隆 理事長・院長
1992年、北海道大学医学部卒業後、市立札幌病院救急部勤務。北大医学部整形外科医局入局、北大病院勤務。カルガリーユニバーシティ(カナダ)留学。03年、市立札幌病院整形外科副医長。07年、桑園整形外科院長。11年、医療法人社団くわのみ会桑園整形外科理事長・院長。日本整形外科専門学会認定整形外科医。医学博士。

小皮切で行う 人工膝関節置換術

手術においても患者への負担軽減を重視し、得意とする小皮切(傷口)の最小

侵襲手術を行なう。従来の人工膝関節置換術は15~30cmの皮切が一般的だが、東理事長は膝盖骨を避けるように側面から5~9cmの切開で筋肉を温存する小皮切という手技を行なっている。

「日本に導入されてすぐの2002年7月から取り入れました。2011年の人工関節置換術の実績は179例で、一部の患者さんを除き全体の95%以上が小皮切で手術を行ないます。人工膝関節置換術は膝に大きな侵襲をかけてしまう手術のため、肉体的にも精神的にも少しでも負担を減らすことができるよう心がけています」と東理事長は強調する。

術後の回復が早く 整容面も優れた小皮切手術

膝関節は構造上、複数の靱帯がついているなど複雑で、手術には多大な注意を要する。小皮切は、小さな切開部を通して関節の隅々まで確認しながら手術器具を入れるために、医師の経験や技量に大きく左右される。

小さい切開で筋肉をできるだけ傷つけずに手術するため、術後の回復が早く、整容面でも優れている。また、表皮の下の真皮を細かく縫い合わせる真皮縫合により傷が目立たず、外見の不安も解消できる。小皮切は、術後のリハビリにも効

患者が相談しやすい 医院を目指す

果的で、早期回復により入院期間は2~3週間程度で済むという。

膝には大きく分けて内側側副靱帯、外側側副靱帯、前十字靱帯、後十字靱帯の4つの靱帯がある。受傷頻度の最も高い内側側副靱帯は保存治療で治るが、前十字靱帯と後十字靱帯は保存治療では治ることはむずかしい。

このうち前十字靱帯は日常生活で困ったり、スポーツをするときに不自由さが残る場合、手術をすることが多い。桑園整形外科では、スポーツ医学にも力を入れており、内視鏡下で靱帯再建術を行っている。

「人工膝関節置換術やスポーツ外傷・障害、外反母趾など、患者さんを手助けしながら治療しています。患者さんが相談しやすく、治療後も来てよかったです」と東理事長はいう。

医療法人社団 くわのみ会
桑園整形外科
〒060-0008
北海道札幌市中央区北8条西16丁目28-30
※JR桑園駅より徒歩4分、無料送迎バス運行中
TEL.011-633-3636 FAX.011-633-3737
診療科目：整形外科、リウマチ科、
リハビリテーション科
診療時間：平日 9:00~12:00/14:00~18:00
土曜 9:00~12:00
休診日：土曜後・日・祝
病床数：19床
入院設備完備（個室あり）、
インターネット使い放題、
駐車場完備（21台）MRI完備
<http://www.dr-azuma.net>